

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年4月3日(2008.4.3)

【公表番号】特表2007-524749(P2007-524749A)

【公表日】平成19年8月30日(2007.8.30)

【年通号数】公開・登録公報2007-033

【出願番号】特願2007-500206(P2007-500206)

【国際特許分類】

C 09 B	5/62	(2006.01)
C 09 B	67/04	(2006.01)
C 09 B	67/20	(2006.01)
C 09 C	3/08	(2006.01)
C 09 D	11/00	(2006.01)
C 09 D	201/00	(2006.01)
C 09 D	7/12	(2006.01)

【F I】

C 09 B	5/62	
C 09 B	67/04	
C 09 B	67/20	F
C 09 C	3/08	
C 09 D	11/00	
C 09 D	201/00	
C 09 D	7/12	

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月12日(2008.2.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

透明で清浄な黄色を帯びた色合いを有する、顔料形態のペリレン-3, 4, 9, 10-テトラカルボン酸N, N-ビス-メチルイミドの製造プロセスであって、アルキル化剤によるペリレンテトラカルボン酸イミドのメチル化(方法2)により生成されるペリレン-3, 4, 9, 10-テトラカルボン酸N, N-ビス-メチルイミド及びペリレンテトラカルボン酸無水物とメチルアミンとの縮合(方法1)により生成されるペリレン-3, 4, 9, 10-テトラカルボン酸N, N-ビス-メチルイミドを含む混合物の、二量体化ロジンの存在下での微粉碎を含む、プロセス。

【請求項2】

混合物が、35~90重量部の、方法1で生成されるペリレン-3, 4, 9, 10-テトラカルボン酸N, N-ビス-メチルイミド及び65~10重量部の、方法2で生成されるペリレン-3, 4, 9, 10-テトラカルボン酸N, N-ビス-メチルイミド、並びに顔料混合物1重量部当たり0.02~0.4重量部の二量体化ロジンを含む、請求項1記載のプロセス。

【請求項3】

アルキル化剤によるペリレンテトラカルボン酸イミドのメチル化(方法2)により生成されるペリレン-3, 4, 9, 10-テトラカルボン酸N, N-ビス-メチルイミド及

びペリレンテトラカルボン酸無水物とメチルアミンとの縮合（方法1）により生成されるペリレン-3, 4, 9, 10-テトラカルボン酸N,N'-ビス-メチルイミドを含む混合物の、二量体化ロジンの存在下での微粉碎を含むプロセスにより生成される、透明で清浄な黄色を帯びた色合いを有するペリレン-3, 4, 9, 10-テトラカルボン酸N,N'-ビス-メチルイミド顔料。

【請求項4】

高分子量有機物質を顔料着色する方法であって、高分子量有機物質に、顔料着色される高分子有機物質の重量に基づき0.01～70重量%の請求項3記載のペリレン顔料を組み込むことを含む、方法。

【請求項5】

高分子量有機物質及び顔料着色される高分子有機物質の重量に基づき0.01～70重量%の請求項3記載のペリレン顔料を含む、顔料着色組成物。

【請求項6】

マスター・バッチ、コーティング、トナー又はインクジェット組成物である、請求項5記載の組成物。